

# 2026年春季ユマニテクプラザ産学官連携セミナー

## 「先進事例から読み解く、産学官連携と地域活性化の関係性」

会場：ユマニテクプラザ3F 研修室300

2026年3月23日（月） 14:00～17:15

基調講演

14:05～15:35

### 「転機の地域産学官連携～多様な力が創る産業振興の新章～」

(一財)浅間リサーチエクステンションセンター専務理事・センター長

信州大学特任教授(産学官地域連携) 工学博士

#### 岡田 基幸 氏

長野県上田市、合併前人口12万人。2000年7月25日から四半世紀をかけてつくりあげた産学官連携のプラットフォームを活かし、広域連携、企業連携、採用/育成/定着、女性の創業/伴走、大学発ベンチャー、商店街・地域スポーツ、観光・UIターン・移住、次世代農業などの支援を展開。主催したセミナー・フォーラムは1,150回を超える。AREC会員(法人年会費5万円)は当初の12倍超の445社・団体に拡大。

パネルディスカッション

15:50～17:15

#### 【パネリスト】

・(一財)浅間リサーチエクステンションセンター 専務理事・センター長

信州大学特任教授(産学官地域連携) 工学博士 岡田 基幸 氏

・三重県政策企画部 企画課長 坂本 克明

・三重県雇用経済部 新産業振興課長 江藤 浩太

・(公財)三重県産業支援センター 北勢支所長 富田 康成

【進行】(学法)みえ大橋学園 ユマニテクプラザ館長 藤井 信雄

#### 【3つの論点】

- ①地域課題を解決し、地域活性化に資する取り組みを行うために、どのような産学官連携を企てるべきか
- ②地域課題解決につながっていけるような産学官連携のプラットフォームは、どのような点に留意して構築していけばよいのか
- ③地域課題解決につながる産学官連携の成否を握るキーマンは、どのようにすれば地域で育成できるのか

主催：三重大学 東京大学 三重県 三重県産業支援センター みえ大橋学園

**Humanitec Plaza**

〒510-0074 三重県四日市市鶉の森 1-4-28  
TEL 059-359-4877 <https://www.humanitec-plaza.jp>

## 基調講演・パネリスト①

(一財)浅間リサーチエクステンションセンター  
専務理事・センター長

岡田 基幸氏 (1971年生) 略歴

- ・1994年 信州大学繊維学部 卒業
- ・1996年 信州大学大学院工学系研究科 博士前期課程 修了
- ・1997年 上田市役所 入所 (商工課 / AREC 設置企画を担当)
- ・1999年 信州大学大学院工学系研究科 博士後期課程 修了
- ・2000年 AREC 運営組織に出向
- ・2010年 上田市役所 退職
- ・2010年 財団法人上田繊維科学振興会 理事 (担当 / AREC 運営)  
(2013年 一般財団法人に移行)
- ・2013年 (一財)浅間リサーチエクステンションセンター (AREC)  
センター長・専務理事 現在に至る

## パネリスト②

三重県政策企画部 企画課長

坂本 克明 (1970年生) 略歴

- ・1993年 三重県 入庁
- ・2022年 政策企画部 人口減少対策課長
- ・2024年 政策企画部 企画課長 現在に至る

## パネリスト③

三重県雇用経済部 新産業振興課長

江藤 浩太 (1987年生) 略歴

- ・2013年 京都大学工学部物理工学科 卒業
- ・2013年 経済産業省入省
- ・2021年 経済産業省資源エネルギー庁電力基盤整備課 課長補佐
- ・2023年 三重県 新産業振興課長 現在に至る

## パネリスト④

(公財)三重県産業支援センター 北勢支所長

富田 康成 (1960年生) 略歴

- ・1984年 三重県 入庁
- ・2012年 私学課長
- ・2014年 国際戦略課長
- ・2015年 海外誘客課長
- ・2017年 環境生活部人権・社会参画・生活安全担当次長
- ・2019年 鈴鹿市地域防災総合事務所所長
- ・2021年 三重県 退職
- ・2021年 (公財)三重県産業支援センター北勢支所長 現在に至る

## 進行

ユマニテクプラザ館長

藤井 信雄 (1953年生) 略歴

- ・1977年 横浜国立大学 経済学部 卒業
- ・1977年 四日市市役所 入庁
- ・2015年 商工課長、市民文化部次長、政策推進部長等を経て副市長就任
- ・2019年 副市長 退任
- ・2019年 大橋学園グループ 入職 現在に至る
- ・2007年より内閣官房地域活性化伝道師